

おひさま教室（子育て支援親子遊び） 参加者（乳幼児とその保護者）

6月5日（水）、10月2日（水）、1月15日（水）

講師：臨床心理士・公認心理師 伊藤勢津子 氏

親子ふれあい遊びを楽しんだ後、講師より、子育てについての話や子どもの発達に応じたアドバイスを受け、参加者同士で共感し合う姿もあり、育児不安等の軽減へとつながっています。



離乳食講座

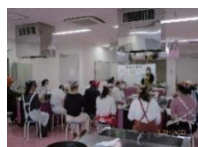
参加者（乳児の保護者・妊婦・乳幼児食育アドバイザー）

離乳食講座

離乳食前期	離乳食後期
5月23日（木）	5月30日（木）
7月 9日（火）	7月18日（木）
9月26日（木）	10月 3日（木）
11月28日（木）	12月 5日（木）
2月13日（木）	2月20日（木）

講師：長崎国際大学 教授 古賀貴子 氏

離乳食に関する講話と調理の実演、実習、試食を行いました。



乳幼児食育アドバイザーフォローアップ講座 5月9日（木）

講師：長崎国際大学 教授 古賀貴子 氏

乳児の発達に必要な栄養素やアレルギーとの関係、月齢に応じた進め方のポイント等、離乳における指針の変遷や支援者としての必要な知識を学ぶことができました。

きらきら広場

子育て支援の場「きらきら広場」は、スタッフやボランティアが温かく見守る中で、親子にとっての交流の場、癒しの場となっています。月に1回広場で実施している親子活動では、様々なイベントや座談会等を行っており、参加者同士の交流を深めることができました。



親子活動内容

4月	子育てトーク「ほっとタイム」
5月	親子でピラティス
6月	「女性の健康づくり講座」
7月	歯科育児健康教室
8月	夏まつり
9月	緊急時の対応
10月	親子でミニ運動会
11月	食育講話
12月	ミニコンサート
1月	子育てトーク「ほっとタイム」(雪のため中止)
2月	わくわくタイム
3月	子育てトーク「ほっとタイム」



教育相談・子育て相談

保育者・子育て中の保護者を対象に、幼児教育全般や育児に関する相談を受けています。（長崎県立佐世保特別支援学校地域支援担当職員、保健師等と連携しています）電話やメールでもお問い合わせいただけます。

子育てサークルネットワークさせぼ

佐世保市内で活動しているおよそ26の育児サークル・子育て支援グループの事務局として、支援を行っています。

情報発信

●保幼小連携接続カリキュラム●保幼小連携接続カリキュラムガイドライン●保幼小連携の取組み（施設版・家庭版）●「保幼小連携の取組み」ポスター●要録様式（佐世保版）改訂版に関すること●きらきらだより●乳幼児施設ガイド●幼児教育センターパンフレット●させぼっ子ナビ（母子手帳アプリ）●育児サークル&子育て支援グループ一覧●研修のまとめ●幼児教育センターだより●図書貸出し（絵本、教職員・保護者向け書籍、エブロンシアター等）●佐世保市保幼小連携アンケート調査に関する報告書●赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業報告書●赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業中学生追跡調査報告書

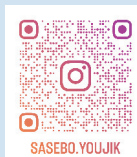


幼児の輝きを引き出す
佐世保市幼児教育センター

〒857-0822 佐世保市山祇町 387 番地

TEL：0956-31-0550

E-mail：youjik@city.sasebo.lg.jp



▲ホームページはこちら

Instagramはこちら

佐世保市幼児教育センターだより

第22号

令和7年3月発行

「ウェルビーイングを高めましょう」

佐世保市教育委員会教育長 陣内 康昭



「三つ子の魂百まで」という言葉が示すように、幼少期の経験や教育は、一生にわたってその個人の成長に大きく影響します。

幼児期は、遊びを中心として、頭も心も体も動かして、主体的に、様々な対象と直接関わりながら、総合的に学んでいきます。遊びを通して思考を広げ、想像力を発揮し、自分の体を使って、また、友達との関わりのなかで、協力やコミュニケーションなど様々なことを学びます。このような成長段階において、周りの大人が「うんうん」「そうだね」と話を聴くことや思いを伝えること、「がんばったね」「よくできたね」とほめることや認めることにより、子どもたちは自信を深め、ウェルビーイングを感じながら成長していきます。

ウェルビーイングとは、国の第4期教育振興基本計画にも示されており、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含むもの、また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念のことです。

本市におきましても、令和5年10月に本市教育が目指す基本的な方針を示す教育大綱の改定がなされました。その改定のポイントとなるキーワードが、この「ウェルビーイング」です。未来の佐世保、未来の日本を担う大事な宝である子どもたちが、自らの夢の実現のために「ウェルビーイング」を感じながら成長してほしい、また、佐世保市民一人ひとりが、「ウェルビーイング」を感じながら、いきいきと生活してほしいとの願いを込めて策定されたものでございます。

佐世保市の子どもたちが幼児期から豊かな体験を積み重ね、小学校、中学校、高等学校とそれぞれの発達段階に応じて、自己を認め、称賛されながら生活することで自己肯定感が高まり、「ウェルビーイング」が向上します。

私も教育長就任以来、折にふれ「市内全ての学校の全ての授業の最後に児童生徒の皆さんの学びを称賛する時間を必ず設定してほしい。」とお願いしています。

一方で忘れてはいけないのは、子どもたちの「ウェルビーイング」の向上のためには、私たち大人のウェルビーイング、特に保護者のウェルビーイングが何よりも大切であるということです。保護者自身が心身ともに健康であり、ポジティブなエネルギーを持って子どもたちと接することが、自然と子どもたちにも伝わります。

これからも、すべての子どもたちの「ウェルビーイング」を高めていけるよう、皆様と手を携え、子どもたちの成長を支えていきたいと考えています。

令和6年度 佐世保市幼児教育センター事業報告

職員研修講座

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）

幼児教育研修会Ⅰ【基礎】 9月17日（火）

「保育の魅力と課題を再発見！みんなでワールド・カフェ」
講師：長崎大学 准教授 脇信明 氏

経験年数5年未満の職員を対象とした保育の基礎を学ぶ講座です。ワールド・カフェ（グループワーク）では、「若手ならではのお困りごと」をテーマに日々の仕事のこと、悩みなどについて共有するだけでなく、互いに共感し活発な意見交換がなされました。



幼児教育研修会Ⅱ【中堅】 9月17日（火）

「子どもの主体性を育む保育実践づくり」
講師：長崎大学 准教授 脇信明 氏



経験年数5年以上の職員を対象としたミドルリーダーとしての役割について学ぶ講座です。「子どもの主体性」について、事例からの気づきや、互いの考えを語り合いながら、保育者としてもつべき視点等についても学ぶことができました。

幼児教育研修会Ⅲ【主任・主幹教諭】 9月12日（木）

「事例から学ぶ保護者支援・保護者対応の視点と主任・主幹教諭の役割」

講師：長崎大学 准教授 脇信明 氏

主任・主幹教諭を対象とした講座です。保護者支援・保護者対応について事例を通して具体的に学びました。その中で、主任・主幹教諭の役割を再確認したり保護者と保育者の意識のズレに気づいたりでき、保育現場ですぐに活かすことができる研修となりました。



幼児教育研修会Ⅳ【園長・副園長】 6月10日（月）

「自主的な遊びを支える保育者をどのように育て自園の保育の質につなげるのか」

講師：広島大学大学院 教授 中坪史典 氏



園長・副園長を対象とした講座です。講話や参加者同士による共有、質疑を通して、管理職として、自園における課題の発見や課題解決のヒントを得ることができる研修となりました。

職員研修講演会 12月16日（月）

「保育専門職の独自性と重要性」

講師：神戸大学大学院 教授 北野幸子 氏

保育専門職とは人権擁護の立場の仕事であり、とても重要な仕事であることや、保育者の自己発揮を大切にしながら、自負と誇りをもって子ども達のために保育・教育を考え、工夫していく必要があることを、グループワークを交えながら、改めて考え合う時間となりました。



保幼小連携講座

参加者（小学校教員・乳幼児教育・保育施設職員等）

担当者会

第1回保幼小連携担当者会 4月～5月

市内47各校に担当者が集まり、年間交流計画や情報交換、各校区のテーマや追加の担当者会の必要性等、保幼小連携について協議がなされました。

第2回保幼小連携担当者会 1月

各ブロックで開催し、幼児期から児童期を通して（接続期を中心に）「育みたい子どもの姿」を保幼小連携担当者で共有するとともに、保育者や教師の関わり方について考え合いました。

公開保育・授業

柚木保育所 9月27日（金）

助言：久留米大学 助教 西南学院大学大学院生 諫山裕美子 氏

柚木幼稚園 10月24日（木）

助言：九州産業大学 助教 西南学院大学大学院生 沖本悠生 氏

柚木小学校 11月27日（水）

助言：西南学院大学大学院 教授 門田理世 氏

ワークシートに沿って保育や授業を参観し、協議を行いました。子どもの育ちと学びの連続性や保幼小連携の在り方等について熱心なグループ協議等がなされ、講師から助言を受けました。



保幼小連携講演会 8月25日（金）オンライン開催

子どもの主体的な学びを幼保小すべてで保障するために
—「個別最適な学びと協働的な学び」の教育・保育—

講師：玉川大学 教授 大豆生田啓友 氏

台風の接近に伴い、オンライン開催に変更しました。国の動向等について、保幼小の職員が同じ内容の講話を聞くことで、具体的な事例を通して幼児期の遊びから学童期の学びに向かう力のつながりや大切にしたい支援・援助について考える機会となりました。



施設長会 8月5日（月）



小学校及び義務教育学校と乳幼児教育・保育施設の長がグループに分かれ、実現可能な保幼小連携の具体的な計画と方策を検討しました。



要録に関する研修会 11月15日（火）

「小学校等へ接続を意識した要録の書き方」

講師：保育幼稚園課 行政幼稚園教諭 立石徳子 氏
長崎県幼児教育センター 課長補佐 高田敦 氏

要録の目的、指導・保育に関する記録のポイント、要録を活かすための書き方と小学校での活用について、学びました。（対象：乳幼児教育・保育施設職員等）

保幼小連携担当者事務局説明会 1月16日（木）オンライン開催

佐世保市の保幼小連携の現状と課題、子どもの育ちと学びをつなぐための連携の在り方や必要性について、事務局より情報発信を行いました。

特別支援教育講座

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）

特別支援教育研修会Ⅰ - ①、Ⅰ - ②

Ⅰ - ① 5月21日（火）オンライン開催

「子どもの特性理解と発達に合わせたかかわり」

Ⅰ - ② 5月28日（火）オンライン開催

「子どもの育ちと保護者支援」

講師：兵庫大学 准教授 藤野正和 氏

子どもの特性・発達に合わせた保育者の関わり的重要性や、保護者との対話におけるエッセンス等を学びました。特別支援の基本的な知識を学び、自らの保育を改めて振り返る研修となりました。



特別支援教育研修会Ⅱ 10月11日（金）

「インクルーシブな保育で共生社会の担い手を育む
一子ども一人ひとりの いま ここ を大切にしながら—」

講師：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター
上席総括研究員・センター長 久保山茂樹 氏

講師の経験をもとに、子どもの姿を肯定的に捉える共感のまなざしについて、子どもの視点で保育を見直すことについて等、温かい雰囲気の中で学びました。特別支援教育にとどまらず、普段の保育を見直せる良い機会となりました。



赤ちゃんふれあい（いのちを育む）事業

参加者（一般市民・小学生）

港小学校5年生 6月18日（火）
白南風小学校5年生 6月24日（月）、25日（火）
木風小学校6年生 6月26日（水）
天神小学校5年生 11月13日（水）、20日（水）
潮見小学校6年生 11月29日（金）

乳児とその保護者、小学校5～6年生との交流会を行いました。赤ちゃんを抱っこしたり、絵本を読み聞かせたり、小学生と保護者が互いに質問し合ったりして温かなふれあいが数多く見られました。赤ちゃんの成長や子育て、家族等について、それぞれの立場でのいのちの大切さを感じながら考える事ができ、小学生にとっても赤ちゃんやその保護者にとっても刺激や学びの多い、有意義な時間となりました。



父親向け育児講座

参加者（一般市民・乳幼児教育・保育施設職員等）

親子ふれあい遊び 2月9日（日）

「ミニミニボンボンで遊ぼう！
～スズランテープで様々な運動をしよう！～」

講師：運動遊び・体づくり（体操）運動指導者 澤井雅志 氏

親子で体を動かしながらふれあうことで、笑顔と元気があふれる楽しい時間を過ごしました。

実技講座

参加者（乳幼児教育・保育施設職員等）



実技研修会Ⅰ 10月8日（火）

「明日からの保育がもっと楽しくなる！
自分らしい保育の見つけ方」

講師：（株）ぎゅぎゅっとハッピー 三原勇氣 氏

明るく元気な講師と一緒に体を動かしながら楽しく学ぶことができました。グループワークでは自分の保育観を語り合い、参加者の保育に対する自己肯定感の向上につながりました。



実技研修会Ⅱ 11月26日（火）

「笑顔をつなぐ！あそびうた実技研修会」

講師：ぼくとときみ。 しょうおにいさん



ぼくとときみ。オリジナルの曲を用いて、保育に活かせる手遊びや親子遊び、歌遊びをたくさん実践しました。ペアを組み、楽しみながら受講することで、参加者同士の笑顔がつながっていきました。

調理担当者実技研修会

8月19日（月）、20日（火）、26日（月）

「鉄について」

講師：健康づくり課 管理栄養士

乳幼児期の発達に欠かせない鉄を含む食材について、摂取するための工夫、具体的な調理法等を学びました。グループワークでの共有・情報交換や鉄を補うレシピの調理実習も行いました。

子育て講座

参加者（一般市民・乳幼児教育・保育施設職員等）

赤ちゃんフォーラム 9月22日（日）

「赤ちゃんフォーラム～赤ちゃんがたぐ佐世保の子育て～」

講師：西南学院大学大学院 教授 門田理世 氏
九州大学基幹教育院 教授 吉田ゆり 氏
NPO 法人ちいきのなかま 理事長 山崎翠 氏

赤ちゃんふれあい事業の10年間の効果及び成果の発表と佐世保での子育てについて考えるシンポジウムを開催しました。赤ちゃんを中心として、遊ぶ声や笑顔があふれる温かい雰囲気の中で、参加者と一緒に考え合うことができました。



子育て講演会 10月12日（土）

「大人も子どもも いま ここ を大切に！
一子育ての合言葉は それでいいよ だいじょうぶ—」

講師：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター
上席総括研究員・センター長 久保山茂樹 氏



講師自身の子育ての経験をもとに、優しく温かい語り口調でユーモアも交えながら楽しく講演いただきました。「あなたの子育ては、それでいいよ、大丈夫」の言葉に、参加者は励まされ、勇気づけられていました。